



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和7年11月7日

我孫子市小中一貫教育だより
第385号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなきちさん」



布佐地区キャラクター
「ふさだ だいしょ」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子どもも
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子どもも
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子どもも

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

「湖北台未来へつなぐプロジェクト」～クリーンセンター見学～

湖北台西小学校4年生社会科の時間で小中一貫オリジナルカリキュラムに位置付けた社会科の授業を実施しました。「ごみの処理と利用」について学ぶ単元で、クリーンセンターを見学して説明を受けることで、クリーンセンターの役割はもとより、環境問題にも目を向けさせることで、中学校区が目指す生徒像である「社会にはばたく人の育成」を念頭に置きながら、次のSDGs の学習にも繋げていくことをねらっているのではないかと推察します。

最初に大会議室で施設の概要等についての動画を視聴した後、係の方の指示でプラットホームをガラス越しに見ることができる場所に移動し、説明を受けました。子ども達は一人ひとりが手にバインダーを持ち、説明された内容や疑問に思ったことをメモしながら聞いています。実際にプラットホームの扉が動いている様子をとても興味深そうに見ていました。

その後、ゴミ収集車についての説明を受け、ごみピットが見られるスペースに移動。ごみを燃やした蒸気でタービンを回し発電していることや環境に配慮した様々な工夫がされていることを学んで一生懸命にメモしている児童もいました。

最後にクレーンの前で集合写真を撮り、大会議室に戻って動画のクイズに回答したり係の方に質問をするなどのまとめをしました。児童からは「施設に使う電気量はどのくらいですか?」「働いていて一番大変なことは何ですか?」「分別を誤って回収したごみはどうしますか?」といった質問があり、お礼の挨拶をして施設を後にしました。2時間ぐらいの時間が瞬く間に過ぎた充実した体験であったと思います。



「こほく・あらき ふれあいカリキュラム」～自然災害から暮らしを守る～

湖北小学校4年生社会科の授業で、Abi キャリアの授業が行われました。

「自然災害から暮らしを守る」の単元で、本時は「避難計画を考えることをねらいとしました。小グループごとに、仮定した自宅場所が記載されたハザードマップが配られ、①どこに避難するか、②どのような経路で避難するか、③何に気をつけるか、④地域で何ができるかを考えます。

子どもたちは、ハザードマップを見ながら「浸水地域を通ったら危ない。」「近い避難場所が良いけど、洪水の時でもよいのかな。」「低い土地に水が流れてくるから、このルートがよいかな。」「家を出る前に何を持っていくかも決めておかないと。」など、たくさん意見を交わしながら、社会科の見方を働きながら適切なルートを模索して避難場所までの経路を考えることができました。

「自分の家だったらどうしたらよいのかな。」とつぶやく子どもたちがちらほら…。すると、先生から「次回は自分の家の場所で考えてみよう。」と投げかけがあり、「家族にも話してみよう。」「道を確認して帰ってみよう。」との声があがりました。

次の時間には、さらに地域の方々にも目を向けて、子どもたちにもできることを考えながら避難計画を立てるそうで、とても授業が待ち遠しくなりました。

